

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

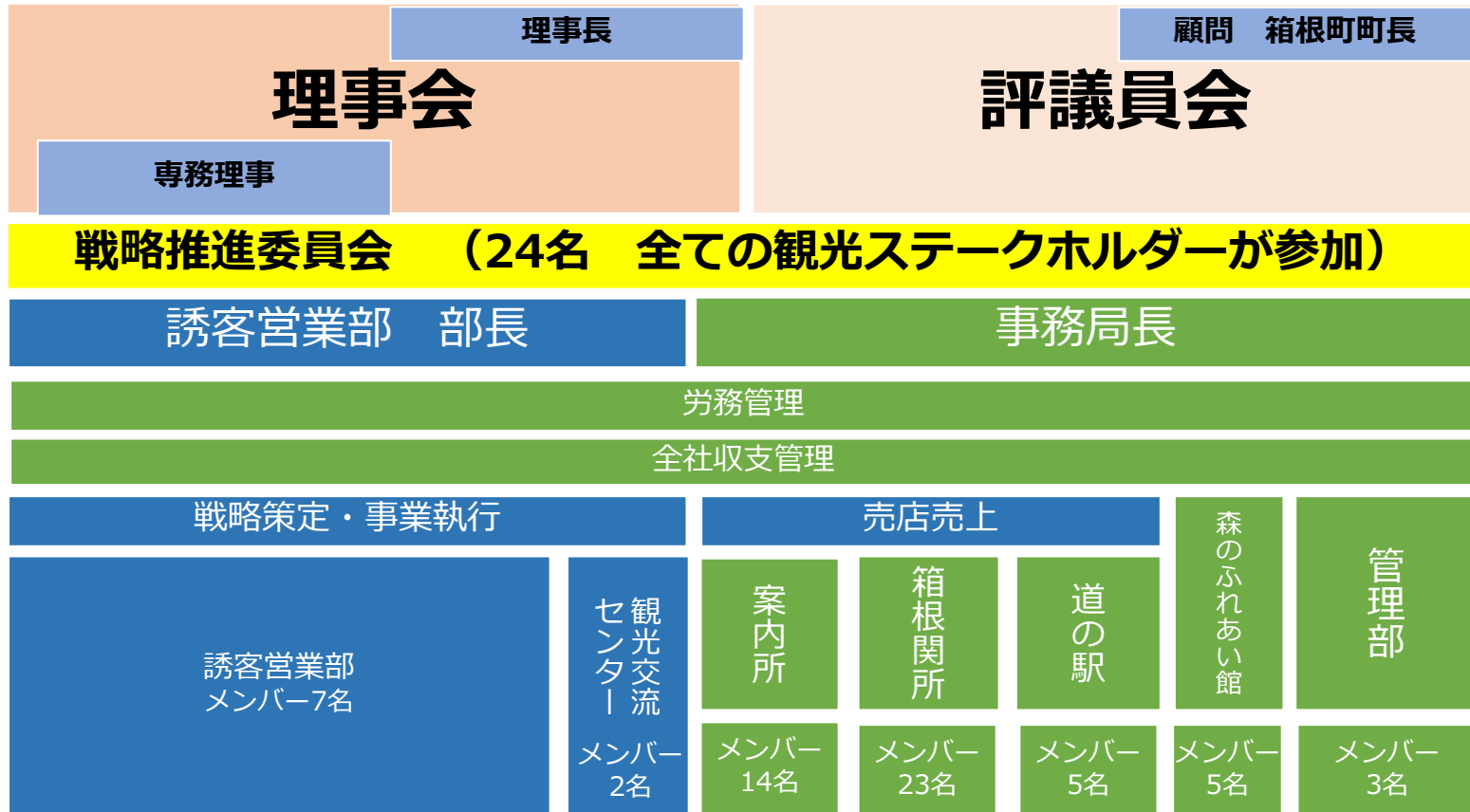
中間報告会 発表資料

活動団体名：一般財団法人箱根町観光協会
活動地域：箱根町

活動におけるテーマ・キャッチコピー
『箱根をSDGsのショールームに！！』

活動団体紹介

(一財) 箱根町観光協会組織図2021年10月1日現在



(一財) 箱根町観光協会の従業員数63名

活動団体紹介

＜箱根観光戦略概要＞ 2030年に観光消費3000億円

- ✓ 国内は70%を占める首都圏観光客に、旅行前に多くの旅行目的を持っていただき、複数個所をスムーズに回って頂けると、満足度が上がり観光消費も多くなる。
- ✓ 海外は東京経由が9割以上であるため、東京にアプローチ。

2大戦略

首都圏再奪取
(国内)

With Tokyo
(海外)

必要なアクション

- ・旅マエ目的を増やすアクション
- ・周遊に関する不満を減少させられるアクション

今のままでは
2030年に
経済縮小「約100億円」

経済縮小を回避して
2030年に
逆に約100億円の経済拡大をするために

ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

- ・ 国立公園内観光地として脱炭素や火山防災等の「災害に強い観光まちづくり」がなされている
- ・ 渋滞緩和に取り組むことで観光客の満足度向上と地域住民の負が解消され、環境と社会課題が統合的に解決されている

課題（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など）

- ・ 人口数から乖離したインフラ整備コスト
- ・ 人口減少・高齢化、年間2,000万人観光客の受入と環境保全と対策
- ・ 災害の有無・規模に左右される観光需要
- ・ 過去の五つの町村の名残り、10の観光協会
- ・ 地勢による考え方の違い
- ・ 休日・ピーク期に発生する交通渋滞（生活・旅行の満足度低下、自然環境破壊）

資源（活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など）

- ・ 行政（町）の全面バックアップ体制が可能、
- ・ DMOを中心とした広い関係性と多くの合意形成の成果
- ・ 富士箱根伊豆国立公園に位置する年間約2,000万人が訪れる観光地
- ・ 首都圏から最も近い観光地
- ・ 利便な交通機関

取組（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ）

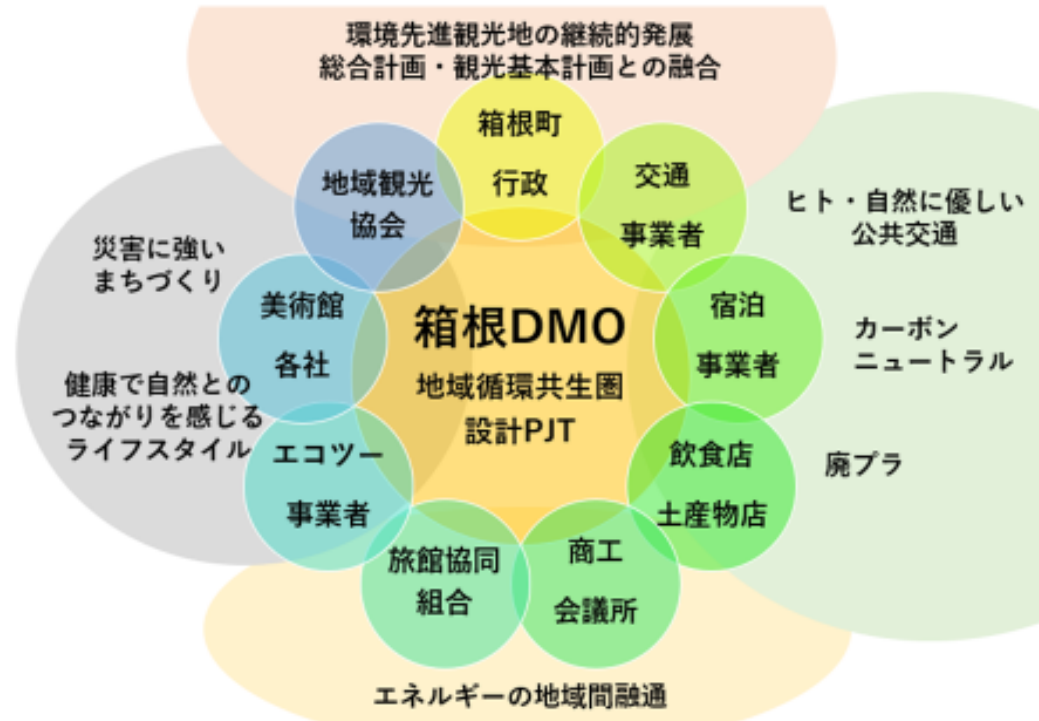
- ・ 脱プラスチックの推進（観光業施設でのビニールやストロー等の代替手段確立）
- ・ 火山の状況や台風情報、大雪等の自然災害時の情報発信
- ・ コンテンツの整理と情報発信（アドベンチャーツーリズム、伝統工芸の活用）
- ・ 観光客のEV自動車の利用促進

成果（取組によって出したい成果）

- ・ 災害に強い観光まちづくり
- ・ 渋滞緩和による地域住民と観光客の満足度向上
- ・ 継続的な自然環境保護と利活用による箱根ブランドの向上

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

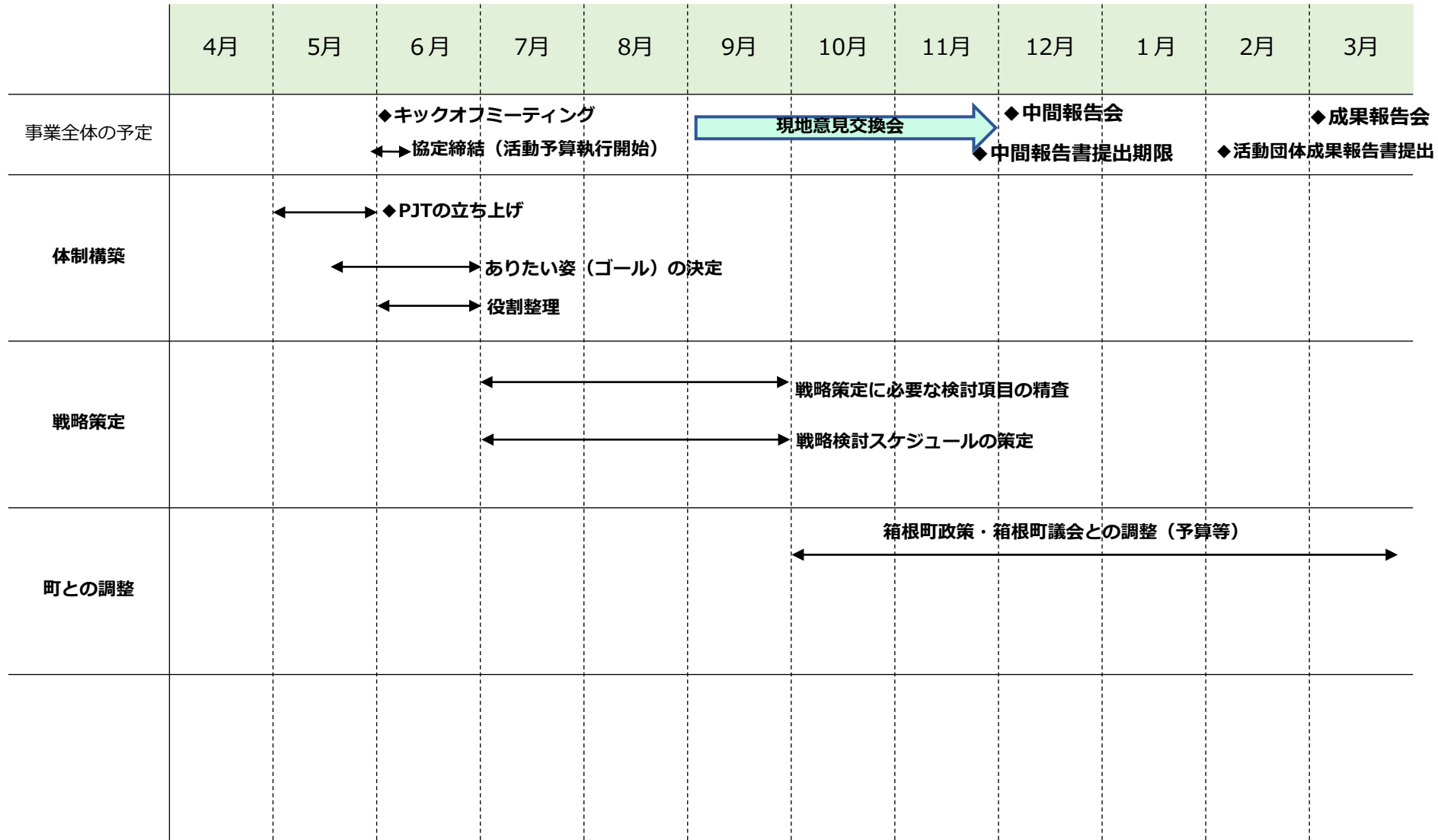
現時点での体制



環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ

- ・ 国立公園内観光地箱根ならではの観光と環境の両立
- ・ 箱根DMO戦略推進委員会メンバーが所属団体に戻り、このプロジェクトの決定方針を基に具現化することでその環広げていく

年間スケジュール（参考資料）



キックオフからの取組内容

6月のキックオフから現在までの取組内容を簡潔に記入してください。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
事業全体の予定	◆キックオフミーティング ← 協定締結 (活動予算執行開始)			→ 現地意見交換会		
会議	5/26 第1回会議	7/2 第2回会議 (行政) 7/28事務局MTG	8/10事務局MTG	9/30 第3回会議 9/6事務局MTG	10/18 第4回会議 10/8事務局MTG	11/17 第5回会議 (意見交換会) 11/9事務局MTG
曼荼羅図の作成	箱根の課題の洗い出し			曼荼羅図の原案提示・作成		
実施施策の整理				実施施策の優先順位議論		
				課題の深掘	取組むべきことを考える	打ち手議論

事業を通じての“変化”

地域課題

地域資源

取組（既）

環境保全と観光の両立

森林マネジメント不足 開発プレッシャーが強い 私有率高い 「国立公園」への理解のばらつき

観光公害 観光客行動マネジメント不足 大量消費・廃棄 食品ロス

事業系のごみが多い 不法投棄 渋滞発生

白浜 真田浜 芦ノ湖 温泉

野生動物 畑引山 森林資源 水力発電

生ごみ処分の処理機補助 罰金

ゴミ箱を置かないことによって見えやすいところには捨てられない

観光美化
パトロール隊
ゴミ拾い隊

環境配慮型〇〇（例：
間伐材のお箸、ガラス
のストロー）

森林づくり事業 間伐材利用

自然公園法、都市計画法、開発指導要綱による土地利用制限

病虫害対策 地下水保全計画

ガードレールに木材利用

エネルギー支出
域外流出

プリンス：廃熱利用

EVタウンプロジェクト
（EV車推進・充電器整備）

パーク&サイクル
主体：湖尻観光協会

持続可能な観光地としての経済循環

雇用受け皿の減少

従業員の減少

観光客数に比例して財政負担が増える

受益者負担の仕組みがない

資源（ヒト・モノ・カネ）が循環していない

域外に所得流出

EV車活用されていない

人口減少

少子高齢化

行政のサイトで事業の求人広告出した

ツアーガイド育成

ツアー料金に+a

移住促進・お試し移住

新税の導入の検討

住居手当（役場職員）

ドネーション付き飲料

意識と行動の変容

観光事業者

箱根DMO

箱根の子供たち

移住者

住民

Uターン者が少ない

教育の差

住民の暮らしの充実

町民

新規加入者との関係希薄

地理的・セクター間のギャップがある

内／外の軋轢

観光客

観光客が「国立公園」として見ていない

事業を通じての“気づき”

事業を通して「視点や捉え方が変わった」「新しい発見があった」という、ご自身・または地域プラットフォームとしての気づきを伺います。以下の項目別にそれぞれ記入してください。

【取組について】

- ・ ESG投資が世界的にかなり進んでいることに気付かされた。
- ・ 地域循環共生圏に資する事業を行っている企業を見つけ箱根町の事業者とマッチングさせることが重要

【地域について】

- ・ 森林問題やごみ問題など、観光関係者は個別に多くの知見や考え方を持っていることに気付かされた。

【関係者について】

- ・ 影響力のある大手企業の事業戦略を理解し、連携していくことが必要
- ・ 他社の取組事例をほとんど知らないため、既に取組済みの事例を共有することが必要
- ・ SDGs関連の取組みとコストとがコンフリクトすることが多いと感じている。今はまだ総論的な議論であるが、来年度にかけて具体的にいった時に、より顕著になりそう。

課題と今後の取組の方向性

事業を通じて『苦労したこと／苦労していること』、それに対して『何をしたか／これから何をしようとしているか』を記入してください。

【苦労したこと／苦労していること】

- ・ 会議開催日の日程調整
- ・ 議論内容の集約の仕方
議論スタート当初は地域課題が多く、広すぎるため、中々1回の会議で論点を絞るのは難しかった。
- ・ 曼荼羅図の大きな柱が議論を重ねれば重ねるほど見直しが生じなかなか決めきれない。
- ・ PJT参加メンバーの知識レベルのばらつき
ばらつきを無くすためにESG投資関連書籍の配布
- ・ 取組み自体への懸念の発生
地球温暖化謀略論や、箱根の森林の光合成の成果との比較におけるCO2削減不要論など。環境省富士箱根伊豆管理事務所長にFACTを基に説明頂いた。

【何をしたか／これから何をしようとしているか】

【実施したこと】

- ・ 課題の共有⇒論点の整理⇒課題の深掘・必要な取組を整理⇒課題が与える影響を出し取組むべきことを考える
⇒打ち手の議論（打ち手出し）
- ・ ファシリテーターの関東EPOさんと会議前後にMTGを実施。次回会議の方向性及び議論内容のすり合わせを実施

【今後の予定】

- ・ 打ち手の議論を更に進めるとともに、各事業者から地域循環共生圏に資する取組事例をヒアリング。
打ち手議論及びヒアリングから得た事例をマトリックスに落とし込み重要度・実現可能性の観点から優先順位付けを行う
⇒曼荼羅図ver.1完成
- ・ 優先順位付けの後、リーディングPJTで進めていくもの、中長期的に進めていくものにそれぞれわかる
- ・ プロジェクトメンバーを拡大し取組事例の集約の拡大
- ・ 会議開催場所の工夫
実際のバイナリー発電予定地（箱根湯の花プリンスホテル）の視察を合わせた会議設定。
三菱地所ワーケーション施設の視察を合わせた会議設定。

今後のスケジュール

今後のスケジュールを簡潔に記入してください。（当日の発表は必須ではありません。）

	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定	◆中間報告会			◆成果報告会 ◆活動団体成果報告書提出
会議	12月中旬 第6回会議 12月上旬 事務局MTG	1月中旬 第7回会議 1月上旬 事務局MTG	2月中旬 第8回会議 2月上旬 事務局MTG	3月中旬 第9回会議 1月上旬 事務局MTG
曼荼羅図の作成	曼荼羅図の原案提示・作成		曼荼羅図 ver.1 完成	
実施施策の整理	実施施策の優先順位議論			
	実施事例ヒアリング			
	打ち手議論	マトリックスによる 優先順位付け	リーディングPJT スタート	